

環研センターnews

第9号

山形県環境科学研究センター
村山市楯岡笛田三丁目2-1
TEL.0237(52)3124
e-mail:kankyose@pref.yamagata.jp
編集 環境企画部
発行 2004年11月29日

環境EXPO やまがた2004に参加しました

県民のライフスタイルや社会経済活動のあり方の実例を紹介し、豊かで美しい山形の環境を守り、次代に引き継いでいくために、どう行動するのかを考える環境EXPO山形2004が山形ビッグウイングで開催されました。当センターも参加し、環境保全に関する展示の他、親子で楽しめるクラフトコーナーなどを設置し、たくさんの方に来ていただきました。

10月29日
~31日



クラフトコーナーは子どもたちで
大にぎわい!



最上川の今昔～水質編

30年前と最近の最上川の水質を説明。



ダイオキシンってどんなもの??

クマの出没予測システムについての研究のあらましや、クマの生態、水辺に暮らすたくさんの生き物などを紹介しました。



展示のコーナー

酸性雨・最上川の今昔・ダイオキシン・ニホンツキノワグマなどに関する展示が行われました。

色の変化を見てみよう



酸性雨で色が
変わったよ!



クラフトコーナー
自然の素材を使って、ネームプレートやしおりを作りました。



地球にやさしい種をまこう
地球にやさしくするためにできること、やりたいこと。小さなところからみんなも始めてみよう!

地球となかよし
こどもエコクラブ



会場では、こどもエコクラブの発表会も行われたよ。



イオン山形南こどもエコクラブ



グリーンクリーンジュニア(山形市)



イオン東根こどもエコクラブ

(社)日本水環境学会 東北支部セミナーが行われました。11/10



11月10日(水)に県生涯学習センターにおいて、当センターが事務局となって日本水環境学会東北支部セミナーが開催されました。

セミナーでは、下水汚泥のリサイクル技術の第一人者である東北大学の野池教授から「バイオマス・ニッポン総合戦略の推進における^{げんきせい}嫌気性処理技術の重要性」と題して、ご講演を頂きました。

その他、美しい山形・最上川フォーラム清流部会から最上川の清流化への取り組みについて、また、山形市浄化センターから下水汚泥の有効利用について、話題提供していただきました。

活発なご意見をいただき、予定時間を延長するほどの大盛況でした。

県内には、総合的な学習の時間等で食農・環境学習を行っている学校が数多くあり、また地域においても、様々な食と農に関する体験的学習が行われています。今回は次の学校にご協力いただき、学校での実践例や活動の様子を展示し紹介しています。今号と次号でその模様をお伝えします。

【展示小学校】五十音順

- 鮎貝小学校(白鷹町)・荻袋小学校(尾花沢市)・櫛引南小学校(櫛引町)・関小学校(米沢市)
 第一小学校(飯豊町)・醍醐小学校(寒河江市)・琢成小学校(酒田市)・西郷小学校(村山市)
 西遊佐小学校(遊佐町)・古口小学校(戸沢村)・山元小中学校(上山市)・梨郷小学校(南陽市)

12/4(土)・12/18(土)の9時~16時、開館しています!この機会にぜひ御覧ください。

白鷹町立鮎貝小学校

「食農的な体験活動を通して、21世紀を生き抜く児童の育成」をテーマに、地元と土地改良区の支援を受けて、リンゴや枝豆の栽培、田植えなどに取り組みました。子ども達の真剣な取組が見られ、指導者や自然の恵みへの感謝の気持ちが出てきました。



尾花沢市立荻袋小学校

「土に触れ、育てる喜びを子どもたちに」という願いのもと、ジャガイモ・そばバケツ稲など学年ごとに色々な作物を栽培しました。収穫したものは他学年にもおすそ分けしました。3・4年生のジャンボスイカは市のコンテストで1位と3位になりました。



櫛引町立櫛引南小学校

生産勤労・地域理解学習の一環として「くだもの学習(主にりんご)」を行っています。収穫したりんごを老人ホームのお年寄りに贈ったり、横浜市の小学生と交流の際、一緒にジャムを作ったりと、生産活動のみに終わらず、奉仕活動・様々な体験活動へとつながりました。



米沢市立関小学校

もち米栽培と餅つき体験、そばの栽培、古代米のわら細工など、関地区の産業を体験した子ども達。地域に密着した活動で、食と農の大切さ、勤労の大変さ、郷土を愛する心も育まれました。環境美化活動として吾妻山清掃登山などのクリーン活動も行っています。



飯豊町立第一小学校

地域や環境への関心を高めるために行っている「ほほえみ活動」。ハーブや野菜の栽培の他、高校生と一緒に田植えをしたり、お年寄りから昔話や昔遊びを教わったりしました。学校と地域が連携をもち、子ども達に適した場と環境作りを、推進しています。



寒河江市立醍醐小学校

バケツでの稲の栽培を行ったさい、冷夏だった影響で十分に育たなかった稲を見て、冷害に関して詳しく学びました。「お米の先生」からお話を聞いたり、地区にアンケートをとったりして、様々な人と関わりながら学習を進めました。



ほっと NEWS ほっと NEWS

・実験講座

「地球環境問題をのぞいてみよう」

ものを燃やすとどうなる?地球があったかくなると・・・?
 大気について調べてみよう!

日時: 12月4日(土) 13:00~

対象: 小学校高学年以上15名(保護者の方も一緒にどうぞ)

・イバラトミヨサミット

「自然豊かな山形県」でも近年「生態系の劣化現象」が見られるように・・・!

最上地方の現状を眺めながら、イバラトミヨを通して今後の保全のあり方を考えます。

日時: 12月19日(日) 13:00~

場所: 最上広域交流センター「ゆめりあ」 **参加無料**

申込・問い合わせ 0237-52-3124

環境す・語録

高齢者が分かりやすい言葉、使う言葉、みんながわかる言葉が必要です。みんなが理解できて、地域で実践ができます。

山形大学教授 國方敬司氏
 ISO14001登録更新をした東根市で開催された第1回シンポジウムにて、「地域版環境ISO」推進に向けたパネルディスカッションでの一言。